

<b>Title</b>	著訳者紹介
<b>Author(s)</b>	聖学院大学総合研究所
<b>Citation</b>	聖学院大学総合研究所紀要, No.57 別冊,2014.3 : 3-6
<b>URL</b>	<a href="http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=5105">http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=5105</a>
<b>Rights</b>	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

## 〔著 訳 者 紹 介〕

(掲載順)

高橋 義文 たかはし・よしふみ

1943年、東京に生まれる。アンドリューズ大学大学院修士課程修了、東京神学大学大学院博士課程終了。神学博士（東京神学大学）。三育学院短期大学教授・学長、エモリー大学客員研究員を経て、現在、聖学院大学大学院教授、聖学院大学総合研究所所長。

〔著訳書〕『キリスト教を理解する』、『ラインホルド・ニーバーの歴史神学』、『パウロ・ティリッヒ研究』（共著）、『教育の神学』（共著）、チャールズ・C・ブラウン『ニーバーとその時代』、アリストアー・E・マクグラス『アリストアー・E・マクグラス宗教教育を語る』、ジョン・ウィット『自由と家族の法的基礎』（共監・共訳）、W・パネンベルク『キリスト教社会倫理』（共訳）、ラインホルド・ニーバー『ソーシャルワークを支える宗教の視点』（共訳）ほか。

阿久戸 光晴 あくど・みつはる

1951年生まれ。一橋大学社会学部・法学部卒。住友化学工業株式会社勤務を経て、東京神学大学博士課程前期修了後、米国エモリー大学神学部大学院ほか。その傍ら聖学院大学及び聖学院アトランタ国際学校開設業務を担当。その後聖学院大学宗教主任兼助教授を経て、現在、学校法人聖学院理事長兼院長・聖学院大学学長代行（2013年11月まで学長）兼教授。その他日本聖書協会新翻訳事業検討委員、荒川区不正防止委員会委員長など。

〔著書〕『近代デモクラシー思想の根源』、『説教集 新しき生』、『ヴェーバー・トレルチ・イエリネック』（共著）、『神を仰ぎ人に仕う』（共著）、『キリスト教学校の形成とチャレンジ』（共著）ほか、著書・論文多数。

ロビン・W・ラヴィン Robin W. Lovin

サザン・メソジスト大学全学教授。同大学パーキンス神学大学院教授・院長、アメリカ・キリスト教倫理学会会長等を歴任。Ph.D.（ハーヴァード大学）。専門は、キリスト教社会倫理学、ラインホルド・ニーバー、教会と国家等。

〔著書〕*Reinhold Niebuhr and Christian Realism* (Cambridge University Press, 1995). *Reinhold Niebuhr* (Abingdon Press, 2007). *Christian Realism and the New Realities hbk.~pbk.* (Cambridge University Press, 2008). *Christian Ethics: An Essential Guide* (Abingdon Press, 2009). など。

千葉 眞 ちば・しん

1949年生まれ（宮城県）。国際基督教大学教養学部教授（西欧政治思想史，政治理論専攻）。

〔単著〕『現代プロテスタンティズムの政治思想』（新教出版社，1988年），『アーレントと現代』（岩波書店，1996年），『デモクラシー』（岩波書店，2000年），『二十一世紀と福音信仰』（教文館，2001年），『「未完の革命」として平和憲法』（岩波書店，2009年）など。

〔共編著〕*Living for Jesus and Japan: The Social and Theological Thought of Uchimura Kanzo* (Eerdmans, 2013) など。

西谷 幸介 にしたに・こうすけ

東京神学大学神学部卒・同大学院修士課程修了。バーゼル大学神学部博士課程修了（Dr. thelo.）。日本基督教団正教師。日本基督教団戸山教会協力牧師。1983年より女子聖学院短大講師・宗教主任，聖学院大学教授・大学宗教主任，青山学院大学非常勤講師，東北学院大学・同大学院教授・同キリスト教文化研究所所長，宮城大学非常勤講師を歴任。2008年より青山学院大学大学院教授（国際マネジメント研究科）・大学宗教主任（専門職大学院担当），同総合研究所キリスト教文化研究部部長。日本基督教学会，日本宗教学会，日本経営倫理学会に所属。

〔著書〕『ロマドカとニーバーの歴史神学』，『宗教間対話と原理主義の克服』ほか。

〔訳書〕R・R・ニーバー『復活と歴史的理性』，グローール『トレルチとバルト』，パネンベルク『現代キリスト教の霊性』ほか。

任 成 彬 イム・ソンビン Yim Sung Bihn

韓国長老会神学大学校教授。文化宣教研究院院長，韓半島平和研究院運営委員なども務める。Ph. D.（プリンストン神学大学院）専門は，キリスト教倫理学，キリスト教と文化。

〔著書〕『公共神学とは何か』，『キリスト教文化と韓国文化』『デジタル・メディア時代の文化宣教』など。

東方 敬信 とうぼう・よしのぶ

1944年生まれ。1966年青山学院大学経済学部卒業。1970年東京神学大学修士課程修了。1996～97年デューク大学客員研究員。日本基督教団銀座教会副牧師，経堂緑岡教会牧師を経て青山学院大学宗教主任・総合文化政策学部教授。日本基督教団富士見丘教会担任教師。現在青山学院大学名誉教授。

〔著書〕『H・リチャード・ニーバーの神学』、『キリスト教と生命倫理』、『物語の神学とキリスト教倫理』、『神の国と経済倫理』、『生きるための教育』、『文明の衝突とキリスト教』その他。  
〔訳書〕H.リチャード・ニーバー『近代文化の崩壊と唯一神信仰』, J.M.ガスタフソン『キリスト教倫理は可能か』, S.ハワーワス・C.ピンチス『平和を可能にする神の国』, 『美德の中のキリスト者』その他。

藤原 淳賀 ふじわら・あつよし

1965年岡山市生まれ。聖学院大学基礎総合教育部教授。東京基督教大学専任講師(2000-4), 聖学院大学総合研究所助教授, 准教授, 教授を経て現職。Ph.D. (University of Durham, England); M.Div. (Golden Gate Baptist Theological Seminary); 教育学修士(慶応義塾大学大学院)。研究領域はキリスト教神学・倫理学。

〔著書・論文〕*Theology of Culture in a Japanese Context: A Believers' Church Perspective*, Princeton Theological Monograph Series (2012); "The Challenge of Yoder and Hauerwas' Theology in the Japanese Context"; 『ジョン・H・ヨーダーの神学——平和を作り出す子羊の戦い』(共著), 「キリスト者と戦争——歴史的概観と今後の課題」, 「ダビデ——神への畏れと信頼」他。

左近 豊 さこん・とむ

1968年生まれ。学習院大学文学部史学科卒。東京神学大学大学院神学研究科博士課程前期課程修了(神学修士)。米国コロンビア神学大学院Master of Theology課程修了(Th.M)。プリンストン神学大学院Doctor of Philosophy課程修了(Ph.D)。現在, 聖学院大学人間福祉学部副チャプレン, 准教授。専攻は旧約聖書学。

〔著書〕*Fire Sent From Above: Reading Lamentations in the Shadow of Hiroshima-Nagasaki*.

〔訳書〕J. L. メイズ『現代聖書注解 詩編』(日本基督教団出版局, 2000年, 2010年重版), W.ブルッゲマン『聖書は語りかける』(日本キリスト教団出版局, 2011年), F. W. ダブス=オルソップ『現代聖書注解 哀歌』(日本キリスト教団出版局, 2013年)。

〔論文〕「アモス書『諸国民への託宣』における文体の研究」『神学』第57号(1995年), 「ヨブ記におけるゴーエールとは?」(大野恵正他編『果てなき探求』教文館, 2002年), 「海のように深いあなたの傷を, 誰が癒せるだろうか?——旧約聖書『哀歌』第2章の文学的研究」『聖学院大学論叢』第21巻(2009年), 「苦難としての恥——哀歌第1章の文芸学的研究」『聖学院大学論叢』第22巻(2010年), 「なぜ日本に聖書学が必要か」『聖学院大学総合研究所紀要』第47号(2010年), 「ご覧ください, 主よ! 哀歌第1章1-11節」, アレティア特別増刊号『危機に聴くみ言葉』(2011年), 「哀しみのロゴス化——旧約の嘆きに学ぶ」『学校伝道研究会紀要』第20号(2012年), 「3・11以降をどう生きるか——聖書の語りかけに聴く」『キリスト教と諸学』27巻(2012年)。

森田 美千代 もりた・みちよ

1946年生まれ。国際基督教大学大学院修士課程教育研究科修了（教育学修士）。ドルー大学神学部Master of Theological Studies 修了（神学修士）。ドルー大学大学院博士課程アメリカの宗教と文化専攻修了（Ph. D.）。現在、聖学院大学総合研究所教授。

〔著書〕 *Horace Bushnell on Women in Nineteenth-Century America* (University Press of America). 『ブッシュネル「キリスト教養育」の成立過程研究』（日本キリスト教団出版局）、『人間の生と教育』（創言社）ほか。

〔訳書〕 ホーレス・ブッシュネル『キリスト教養育』（教文館）、『理想の大学』（創言社）ほか。

〔論文〕 “Horace Bushnell on Women in Family, Church, and Nation in Nineteenth Century Christian America.” Ann Arbor: University Microfilms International, 1999. 「ホーレス・ブッシュネル研究——『キリスト教養育』をめぐって——」（教授資格論文）ほか。

齋藤 薫 さいとう・かおる

1955年生まれ。東京女子大学文理学部英語学科2年終了後、米国シカゴ・ノースパーク大学英語学科へ転入学、1977年卒業（学士）。1977～86年朝日イブニング・ニュース記者。2003～2008年埼玉県松伏町松伏第二小学校・金杉小学校にて国際理解教育担当。2013年聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科博士後期課程修了（学術博士）。

〔訳書〕 アート・ペッパー、ローリー・ペッパー『ストレート・ライフ——アート・ペッパー衝撃の告白自伝』（スィング・ジャーナル社、1981年）、レイモンド・ホリックス『デージー・ガレスピー』ジャズ・マスターズ・シリーズ③（音楽之友社、1985年）。『嘘つきな億万長者（*Her Secret Longing*）』（Gail Martin, Harlequin K.K., Tokyo, 2002）、『この結婚は賭（*Her Sister's Secret Son*）』（Lisette Belisle, Harlequin K.K., Tokyo, 2002）ほか。

〔論文〕 『『アンクル・トムの小屋』が示す天と地における「ホーム（Home）」——H.B. ストゥと登場人物の歩み（Progress）を中心にして』（学位取得論文、2013年）。